

『きょうりゅうの迷路』

東小学校

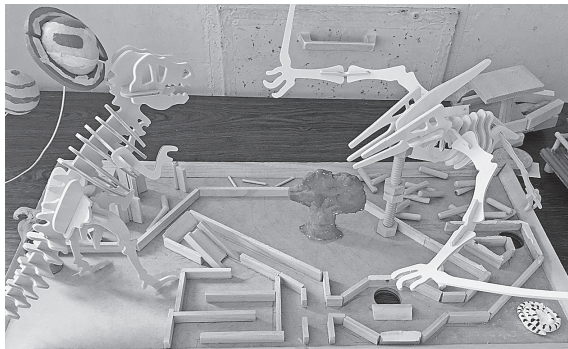
5年1組

小林

凜輝



ぼくがきょうりゅうの迷路をつくった理由は、きょうりゅうが好きだったからです。今年の夏休みの作品作りは友達よりもすごい物を作ろうと考えました。古代にきょうりゅうがいたジャングルは、迷路のようになっていてイメージがしました。なので、ジ



ヤングルが迷路で、そこにきょうりゅうがいるようにしたいなと思いました。ジャングルは森なので、材料を全て木材で作りました。きょうりゅうは、プレラノドンとティラノサウルスで組み立てキットのものです。しかし、作りながら迷路の上にごう置こうか考えていくうちに面白くなり、最後はプレラノドンとティラノサウルスが戦っている設定にしました。きょうりゅうを迷路の上にごう置いてみると、隙間をどうしようかと思ひ、ヘビヤヤシの

『ふんばった運動会』

東小学校

5年2組

古川あゆみ



この作品でがんばったところは、絵は、人の顔を描くところで、特に横顔がむずかしくて、顔のバランスが大変でした。色は、運動着のズボンの色と、はだの色と、その影

木をねん土で作って色を付けて置いてみると、さらに面白くなりました。きょうりゅうがいる時代のムードがなくならんないように工夫するところもがんばりました。完成すると、自分の思い通りになってうれしかったです。次に作る時にはもっとすごい物を作りたいです。



の色を作るのに一番苦労しました。描いた絵のポーズは、「大木と風」という技なのですがどうしてその「大木と風」のポーズにしたかという、「大木と風」が、運動会で一番練習した技だからです。そして、この作品で見ているところは、手や足です。その場所は特にがんばって描いたので見てほしいです。どうしてこの題名にしたかは、運動会の組体操は、みんなの技もふんばって一生けんめいやっているからです。顔がむずかしかったり、色を作るのが大変だったり、作品を作るためにも苦労しました。

小諸市 天体観望会の開催 **冬から春の星空散歩** 無料

～ 三日月と惑星たち、冬から春の星座の観測 ～

小諸高原美術館では、小諸市を一望できる環境を生かし春の天体観望会を開催いたします。月と惑星、冬～春の星座や星雲・星団などの観察を行います。大勢のみなさんのご参加をお待ちしています。

★日時・場所 平成29年4月1日(土) 午後7時～9時 / 小諸高原美術館・白鳥映雪館 東駐車場

★内容 月と水星・火星・木星、冬から春の星座と星雲・星団の観察(講師 天文同好会「流天」)

★対象 小諸市及び近隣の方、どなたでもお越しください。(中学生以下は保護者同伴・当日参加可能)

★主催・お問い合わせ 小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070 (雨・曇天の場合は、館内で星座スライド放映)